



春夏秋冬

2018
vol.11
季刊発行

eco 情報

「カーテン」

寒さが厳しくなってくると暖房機のお世話になりますが寒さは窓ガラスから侵入してきます。カーテンや障子の役目は太陽光の遮断だけでなく保温にあります。朝カーテンを開け夜閉めるのではなく、昼間でも冷気を遮る上げ下げのカーテンをお勧めします。



日本の家を考える

新年明けましておめでとうございます。

新年の迎え方もだいぶ変わってきましたが、生活スタイルの変化に伴い家の在り方も大きく変化してきました。習慣や伝統から個々の生活に合わせた家づくりに変わってきたようです。

タタミも生活の変化に伴い手入れの楽な板張りになり、和室もめっきり減りました。最近はタタミコール和室ではなく居間の一角にタタミコーナーを設け子育てや憩いの場所として活用するケースも増えてきています。それに伴いタタミ表もイグサではなく和紙を加工したのも丈夫で虫が湧かないとの理由で増えています。障子も和室の減少により希少価値になりつつありますが、ガラス窓と障子紙との間に空気層ができることで保温効果があります。閉め切っても太陽の光を柔らかく取り入れ建具の骨組みの工夫でおしゃれな空間になります。

住まいの中でトイレの変化が一番大きいでしょうね。和便器から洋便器に、そしてあつという間にウォシュレットが標準装備になりました。外国ではほとんど普及していないから不思議です。高齢になってくると夜のトイレに行く回数が増えるのでホテルのように室内に設置したいぐらいです。その時は扉は引き戸にしたいものです。

台所の流し台もほとんどがシステムキッチンとなり日々進化しています。一番大きい変化は収納の扉が引き出しタイプになったことで使いやすくなりました。換気扇も風流板を設けることで換気扇の汚れが少なくなりました。壁面もタイルから手入れの楽なキッチンパネルに切り替わりました。ちょっと味気ない気もしますがお手入れが優先されたようです。

住宅の情報も氾濫していますが、色々調べて納得のいく家づくりをしてください。



ワンジャ 王家 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.011「水餃子(番外編コラム)」



本場中国では、さまざまな餃子があります。唐時代繁栄を誇った都長安ではシルクロードの出発点という事もあり、イスラムとの交流も盛んでした。今でも西安の西大街というエリアには、イスラムの流れをくむ餃子屋さんがたくさんあります。多くのスパイスとパクチー、牛骨を煮込んだコクのあるスープは辛いけど癖になる一品です。

イベント報告

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

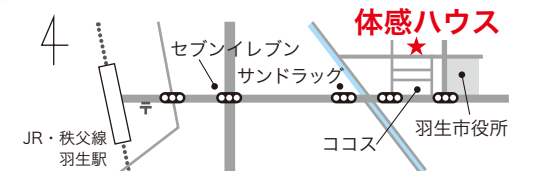
2018 冬の 体感フェア

平成30年1月20日(土)21日(日)
午前10時～午後4時
会場：当社体感ハウス
薬膳教室も同時開催



住まいの耐震博覧会

平成30年2月18日(日)
午前10時 羽生市役所前より出発
会場：東京ビックサイト
参加費：無料
帰りは話題の築地場外市場でお買い物



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

三代目通信

10月下旬に突然訪れた中国の祖父の訃報。家族4人そろっての里帰りは10年ぶり。久々の訪問に叔父さんや叔母さん従兄弟たちは相変わらず優しかった。涙、涙。写真は天国のおじいちゃんがお金に困らないように専用の紙幣を燃やして天国に送っている。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3
☎048-561-6878
info@e-hous.co.jp
編集長：中田 新一

●web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

report OB 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。

今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



四季の懐石「桜茶屋別館」オープンしました

5月から着工していた四季の懐石「桜茶屋別館」が11月に完成しました。先代の自宅を新築した建物が40年の月日を重ね増築に増築を繰り返し、庭も年月と共に充実して、ここに至りました。

今回の新築「桜茶屋別館」のテーマは30人、40人と大人数のお客様に対応できる空間を造ること、桜茶屋を利用される、お客様はリピーターが多いので別館でも、お客様に違和感を持たれないこと。

そこには日本建築の技術と文化が濃縮されていました。

では、ご案内しましょう。



玄関は高齢者にも優しくスロープを大きく設けました。玄関に段差はありません。廊下が畳敷きなのもスリッパをはかない配慮。トイレの入り口も扉をなくし暖簾でお出迎えです。トイレは男、女以外に車いす用のトイレと、おむつ取り替えブースも作りました。おかげで優しい建物になりました。

客室は54畳の大広間、天井を上げることで開放感を演出しています。



居心地の良さは床の間や出窓の細工だけではなく壁面の至る所に掛けてある絵画、彫刻も一役買っています。この見どころは庭園のすばらしさ、建物のこだわり調度品、絵画、置物そして料理そのすべてが素晴らしい、年月を重ねた老舗の味があります。是非お越しください。

地元・羽生市での取り組み

第11回

新鮮朝市感謝祭

NPO法人まちおこし・はにゅう市場が村君と相生町での住民の意識調査を行ったのが縁で始まった村君と相生町の地域交流事業、月2回相生町公会堂で行っている新鮮朝市も3周年を迎え12月に新鮮朝市感謝祭を開催しました。

当日は新鮮朝市に加え村君の野菜をたっぷり使った豚汁と村君の新米を試食していただきました。



天気にも恵まれ大勢の人に集まっていただきました。豚汁も大鍋で作ったおかげで味に深みが出て大好評でした。子供たちも大勢参加して輪投げゲームで盛り上がり、朝から大変なおもいをして準備に携わってくれたスタッフの分の豚汁がなくなり、終了間際に汁だけになった鍋にモツと豆腐を投入して究極のもつ鍋に変身、最後まで大いに盛り上がりました。当日は70名を超えるご参加ありがとうございました。スタッフにとっても励みになりました。これからも村君と相生町の交流事業を続けていきたいと思っています。



匠の仲間たち

わたしたちがいつもお世話になっている心強い匠たちをご紹介します。



file no.011

山崎左官
山崎善夫 さん

PROFILE

生まれ：昭和30年
出身：羽生市

先代は戦後東京で左官修行後、地元羽生で創業学校を出た後、自然な流れで跡を継ぐことに。当時は景気も良く手間が掛かったので人手が大勢必要とされたが、ミキサーがセメントを捏ねるようになり、外壁が張物に代わり和室も減ると左官の仕事も激減。今回の桜茶屋さんの仕事は左官の仕事もたくさんあり和の伝統を生かした技法だったので楽しく取り組めた。趣味は夫婦揃ってのゴルフと晩酌。